

# 生活充実宣言!!

## Creative Life

ひとりひとりの生きがいと  
豊かな生活基盤を創るために。

岡山県議会議員

# 太田正孝

県政だよりVOL.5 平成21年 春季号

編集責任者：太田正孝 TEL.(086)201-5523

### はじめに

平素は私、太田正孝の活動に  
対しまして温かいご理解ご支援  
を賜りまして、誠に有難うござ  
います。

県財政は大変厳しい状況です。  
私の議員活動も行財政改革に関  
わる仕事が増えています。現在  
は行財政改革・道州制等特別委  
員会に所属し、この委員会での  
議論の中心は県の行財政構造改  
革プランになっていきます。私も  
県民の目線から見て県民が不利  
益になることについてはおかし

いと積極的に発言しています。  
そして、私は二月定例県議会で  
3月4日に一般質問登壇して、  
「岡山大安寺高校の中高一貫校へ  
の移行について」、「国直轄事業  
負担金について」等について質  
問をしました。この質問戦を中  
心に、県政だよりとしてまとめ  
ました。ご一読して頂きますよ  
う宜しくお願い致します。

岡山県議会議員  
おた まさたか  
太田 正孝

### 二月定例県議会 一般質問

3月4日に行いました。  
議論の要旨をまとめました。

### 岡山大安寺高校の 中高一貫校への移行 に関して

### 移行に当たつての 知事の思い入れ

太田 今議会に、岡山大安寺



高校を母体  
校にし、平  
成22年度か  
ら中等教育  
学校に変わ  
ることが提案  
されています。  
同じメ  
ンバーでの

六年一貫教育の特性を活かし、  
①三年間で分けられないことによる  
一貫した効果的な学習  
②先生の持ち上がりをもとに基本として、  
心身の不安に対するきめ細かく  
対応する教育の実践

③実践的英語教育の充実  
等ができると思っています。

大安寺高校の中高一貫校への移  
行に当たつて、知事は何か特別な  
思い入れや哲学をお持ちか。

知事 これまでの(岡山大安寺)  
高校の実績を継承しながら、6年  
一貫の利点を生かし、知識と体験  
の融合によるたくましい人間力を  
備えた、次代を担う骨太の人材が  
育成されることを期待している。

### 岡山県の子どものための 課題に対する認識

太田 (視察した宮崎県立五ヶ  
瀬中等教育学校の)先生たちは、  
現在の子どもたちは

- ①いつも大人たちに構われていたり  
②兄弟が少なくなり、遊び場所も  
減り、孤立感を深めていたり  
③指示を出されないと動けなかつ  
たり  
④何でも手に入り我慢できなかつ  
たり

という子どもが多く、年齢に見合  
った人格形成がされていない場合  
が多いと指摘されていました。岡  
山県の子どものための人間的な課題  
はどこにあると考えられているのか。

教育長 これまでの調査結果等  
から、本県の子どもたちは、学習  
習慣が十分身に付いておらず、学

んだことを生活に生かそうとする  
姿勢や困難を自分で乗り越える力、  
人間関係を築く力などに課題があ  
ると考えている。

### 教育手法等

太田 新しい中等教育学校で  
は、(今の岡山県の子どもたちが  
抱える)課題を克服するために、  
どのような教育手法をとっていく  
考えなのか。立派な人格形成をさ  
せるためのプログラムは何かお考  
えか。また、後期課程で県立大学  
とのつながりを持たせれば、学問  
的探究心が高まると考えますが、  
県立大学とのつながりについてど  
のように考えているのか。

### 教育長

新設の中等教育学校で  
は、探究的な授業や教科と関連付  
けた体験活動等により、知的好奇  
心を高め、厚みのある学力を身に  
付けるとともに、海外研修や異年  
齢集団活動等を通して、社会性や  
協調性、さらに行動力や困難に立  
ち向かう力を養うなど、知識と体  
験の融合によるたくましい人間力  
の育成を目指している。

こうした中等教育学校における  
取組は、本県の子どもたちの課題  
とされている事柄への対応として  
も、有効であると考えている。

また、学校外での学習活動を取  
り入れることは、生徒の興味、関  
心、意欲を高め、学習を深化させ  
る上で意義あることと考えており、  
お話の大学との連携についても、  
今後、研究してまいりたい。

### 太田正孝は北区・加賀郡選挙区を希望。

本年4月から岡山市が政令市  
に移行することに伴い、現在の  
岡山市の区域を含む岡山市第一・  
加賀郡選挙区と岡山市第二選挙  
区は四つの区を基本的にして選  
挙区が変更されます。

万一の補欠選挙に備え、関係  
する議員の所属選挙区を変更さ  
れる手続きが行われます。北区・  
加賀郡、南区の定数は人口割  
りで行けば、8対4ですが、前回  
の選挙の結果では議員の数は10  
対2でした。そうしたなか、南  
区の現職議員がお亡くなりにな  
られたことにより、南区に住所  
を有する議員は一人になってし  
まいました。自民党ではできる  
だけ8対4になるようにすべく  
議員団のなかで協議をし、自民  
党の空白区を作らないというこ  
とで一致し、現職議員一人が異  
動することに。それでも、現職  
議員は二人です。自民党は最大  
限の努力をしました。その上で、



太田の地域が  
太田正孝の選挙区  
になります。

この決定に伴い、太田正孝は北区・  
加賀郡選挙区を希望になりました。  
ただし、次回選挙では、定数が  
見直しをされます。議員定数削減  
も叫ばれています。議員定数が  
変わらなければ、人口割りの8対  
4になります。北区・加賀郡の現  
職議員は9名であり、今回は激戦  
になります。



3月4日太田正孝一般質問

### 教育成果の目標管理の仕方

**太田** (東京) 都立日比谷高校では、学校経営の中で目標を数値化し、目標管理を徹底的に行い、生徒レベルでも到達度管理がしっかりとされた結果、希望どおりの進学ができる子どもが増えている。新しい中等教育学校では、6年後の教育成果がどこにあるのかを明確に数値化しておくべきだ。

### 教育長

中等教育学校では、6年間を発展段階に応じて3区分し、2年ごとの区分にそれぞれの目標を設定して、次に進む段階で、生徒と教員が到達度を確認するきめ細かな指導を通して、一人一人の進路実現を図りたいと考えている。

### 学校経営

**太田** どのような学校経営をしていくのか。

**教育長** 中等教育学校は、6年

間同じ学習集団が継続する学校形態であることから、教員が中学校・高校という垣根を取り払い、学校としての一体感を持ち、6年間を見通した教育を行うことが、何よりも重要であると考えている。

新設の中等教育学校では、校長のリーダーシップのもと、師弟同行の理念に立ち、生徒同士や教員との人間関係を重視した教育活動を通して、教育目標の実現に向けた学校経営を行うこととしている。

### 小学生の進路指導

**太田** (岡山大安寺高校が移行する中等教育) 学校に入れるのは、現在の小学五年生からです。考えますと、進路選択まで、残す時間は一年しかありません。

この学校についてもですが、地元中学以外の岡山後楽館や県立岡山操山中学校等に進学しようとした時、現在、通っている小学校での進路相談の体制・対応は十分でないと感じます。最終的には、各家庭で決定するものですが、公立の中で色々と選択肢が生まれているわけですから、小学校で適正に進路指導がなされるようにすべきです。

ついでには、現在、どのように進路指導されているのか。また、今後については、どのようにしていく考えなのか。

### 教育長

学校案内の配布やオープンスクールの紹介、面談の実施等をしているが、学校によって差

があり、十分とは言えない。

今後は、学校が保護者と密接に連携を図り、情報提供や進路相談等をきめ細かく行われるよう指導していきたい。

### 母体校の定員

**太田** 現在の6年生以上の子どもは、(平成27年春に閉校になるものの) 岡山大安寺高校への進学の道はまだ残されている。中等教育学校が開校して年毎に(在校生の) 子どもの数が(160人) 増えることから、母体校の高校の入学定員は年々減らしてゆかなければならない。どの程度まで減らして行く考えなのか。

### 教育長

現段階では未定である。

### 母体校の定員の告知

**太田** 子どもたちのためにも早く告知をするべきです。いつ頃告知できるのか。

### 教育長

できるだけ早い時期に公表したい。

### 国直轄事業負担金について

### 知事の考え方

**太田** 47都道府県と18政令指定都市の21年度一般会計予算案で、国道やダムなどの国事業費の一部を地方が支払う国直轄事業費負担金が総額1兆1000億円に上ることです。35都道府県で問題視しています。石井知事も国直

轄事業負担金は廃止との考え方を明らかにされました。

岡山県の次年度126億円の負担金の予算を計上されていますが、計上するに当たって心の葛藤があったならば、事業名を挙げて頂きながら、その胸の内を聞かせてください。

### 知事

現行の負担率に応じて負担額を計上したものであるが、極めて不合理なものである。早急に見直すべきである。特に維持管理費は国が負担すべきであることから、即刻廃止が必要であると考えている。

### 国との関係の見直し

**太田** 全国のなかでも数人の知事が負担金の見直しを求めています。石井知事は国に対して、具体的にどのような動きをしていく考え方を求めているのか。

### 知事

金子国土交通大臣より直轄事業負担金のあり方に関する見直しの場が設置されると表明されたところであり、全国知事会等と連携をとりながら、国に対し、より一層強力に見直しを働きかけたい。

### 足守川パイプライン事業について

**太田** この事業も国直轄事業の一つです。私も過去に質問もさせて頂きましたが、その後昨年8月に第三者委員会において、今後とも建設費及び維持管理のコスト

縮減に努

めるとともに、環境との調和に配慮しつつ、受益者及び関係者の一層の理解を得ながら、早期の効果発現を目指して効果的に事業を推進するとの方針が示され、国の継続案は妥当との評価が出ました。

この事業について、県としてはどのように取組んでいく考えなのか。また今後、事業計画に基づき、事業を継続することになると、どれくらいの県の負担額になるのか。

### 知事

事業効果の早期発現に向けて、関係者の理解を得て、円滑に事業を進めるように国に強く求めていく。

本事業費は280億円で、岡山県の負担は48億円となっている。

### 負担額の見直し

**太田** 国に対して予想される負担額の見直しを求めていく考えなのか。

### 知事

計画当初から既に十数年が経過している。その間の技術革新は目覚ましい。新たな技術導入によって事業費の削減も可能ならずである。事業途中でも提案して、県の負担額の削減につなげてゆきたい。





# 指定管理者制度と 県有施設について

## 今後の運営

**太田** 指定管理者制度は、民間の力を活用し、サービスの向上と経費節減を図り、素晴らしい公の施設の運営になるようにとの思いで導入がされたものです。

現在の取組の中で、支出の抑制ができたもの、サービスの質の向上があったものも多くあります。

しかし、今回、42の施設で14件の公募を行っています。複数の団体から応募があったのは6件であり、施設運営の魅力が乏しく、競争が起こらず、単独の応募しかなかったものもあります。

今後、公の施設の運営に指定管理者制度をどのように活かして、県民に喜んで頂ける施設運営にしていくのか。

## 知事

指定管理者が多様化するニーズにこたえる運営を行い、県民サービスのより一層の向上が努められるように図りたい。

## 太田

指定管理者が提供するサービスについては、利益ばかりが優先されて指定された時の約束通りにサービスの質が担保されなければ、問題だ。指定管理者が提供するサービスの質が確保されるようにするために、施設設置者として、どのような取り組みをしていく考えなのか。

## 知事

指定管理者と協定の締結、毎月の運営報告、定期的な立入調査を行っている。また、指定管理者に管理状況の自己評価を求め、これを基に総合的な評価を行い、その結果を管理運営に生かすこととしている。

## 宮崎県立五ヶ瀬 中等教育学校視察記



五ヶ瀬中等教育学校で

教育基本法が改正され、日本人が本来持つ優しさや美意識をもっと涵養させる教育ができるようになり、道徳教育の充実も緒につき始めたばかりですが、宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校では「心の教育」にも力を入れていけると聞き、自民党の同僚議員と視察してきました。その聞いたことや感じたことをお伝えします。

● 調査日……2月18日

● 調査場所……宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字三ヶ所 宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校

● 報告……1994年に知事



木をふんだんに使った校舎

に素晴らしいという評価になり、国をも動かし、この学校で始まった総合学習が義務教育で必須となったのです。

知事の強い思いとは、単に公立で中高一貫校を作ることではありませんでした。知事は山村の豊かな森林資源をはじめ、古くからの生活や文化などを創意工夫によって有効に活用し、「人間性回復の森林」として生き生きとした森林を作りたいたいという思いを持っていたのです。その思いを構想にし、この学校を作ることから実行に移しています。

この学校の特長は置かれた環境に因るところが大きくあります。学校は宮崎県高千穂の山深い中にある4750人の小さなまち五ヶ瀬町にあります。学校の周りには学習教材となる豊かな自然でいっぱい。この自然を活用して、「ヤマメの採卵・受精」だったり、「茶摘み」、「天体観測」、「石橋学習」、「野草観察」、「神社訪問」、「わらじ作り」、「わらじを履いての遠足」等の授業を行っていました。子どもたちは「自然の偉大さ」や「人間の知恵」について学んでいます。

の強い思いから、全国初の「公立中高一貫校」として、スタートを切っています。

その積み重ねにより、机上からだけでは生まれない新しい発想を生んでいく力を作っていくという話も聞かせて頂きました。聞いていて、こういう学校で岡山県の子どもたちにも学ばせてあげたいと思いました。

教育効果を上げるために、ここでは森の中の学校という特長を生かしていました。まず、携帯電話もテレビゲームも持たせず、何もない山の中の生活で子どもたちができるものを選択肢をなくさせるというのです。そうすることによって、子どもたちは「学びの飢え」を起す。そうした環境のなかで、子どもたちに学問的な刺激を与えると、意欲を湧かせ、自発的に勉強を始めだし、丸暗記ではない自分の血となり肉となる勉強ができるようになったそうです。そうした教育を、現場の先生たちは「待ちの教育」と呼んでいました。

私は学びには好奇心が大切だと思っていました。どうやって好奇心を起させるのか。どうやれば、身に付く学習になるのか。「待ちの教育」も一つの教育手法と感じました。

また、この学校は全寮制で、寮生活のなかで異年齢のグループを作らせ、複合的な人間関係作りを大きな力を割いていました。兄弟が少ない子どもたちは、我慢や思いやり等身に付けていくそうです。

ここでは、「人間作り」という一つの哲学を持って学校運営して

いました。今の公立の中でも、ユニークな学校づくりはやればできると感じました。岡山県の公教育の中でも、もっと哲学を持って学校運営できる学校を作っていきたいものです。

## 中山間地域の振興に 頑張っている 地域の視察記

まず、島根県、中山間地域研究センターについてです。

● 調査日時……2月9日

● 調査場所……島根県飯石郡飯南町 上来島

ここは全国で唯一の中山間地域振興研究の専門機関です。岡山県も90万円の負担金を拠出しています。ここは全国のなかで10年先をいっているとの話を聞きました。過疎債が生まれたのも島根県からと聞き、島根県から中山間地域に関する色々な取組が始まったとの思いを強くしました。

まず驚いたことは立派な建物があり、そこに40名も職員がいることです。この機関は単に集落管理について研究するだけではなく、農林業の研究機関も取り込み、総合的に中山間地域を持続可能なまちにするかをテーマにしていることを様々な説明から感じることができました。

施設内を見学すると、暖房には木材をペレットにし、それを燃料とするペレットストーブが

(4)使われていました。また、県内産

の杉をどのようにしたら需要が喚起できるかということで杉を利用した試作品も置かれていました。

外に出ると、猪対策の防護壁の研究もされていきました。どれくらいのものなら、飛び越えさせせずにできるかというものです。

様々な取組をおうかがいする度に、島根県の深刻さを感じました。岡山県も負担をしているので、もっと職員交流をするなどして、良いところは教えて頂きながら、岡山県の中山間地域対策を講じていかなければならないと強く実感しました。

もう一つは、川根振興協議会についてです。

### ●調査日時……2月10日

### ●調査場所……広島県安芸高田市高宮町川根 エコミュージアム川根

辻駒健二会長のリーダーシップが際立っていました。ここは、柚子を使った味噌や饅頭等いろいろ



説明する辻駒健二会長

なものを開発してまちを売り出しています。

また、中学校跡地を地域の拠点施設にし、そこにはレストランや地域の会合ができる会議室がありました。とくに驚いたのは、ここで働くご婦人の時給は400円でやっているとということでした。地域を盛り上げようという熱意からできることでしょうか。その他にも、会長の言葉は印象に残るものばかりでした。少し紹介しますと、

『やらされる事業は面白くない。』

『自ら考え動く人は、皆リーダーだ。』

『行政へ要求ばかりするのではなく、提案していかなければ、行政は動かない。』

『国が言う通りにしていても予算を消化するだけ。工夫をして地域に役立てるようにしなければならぬ。』

これらは経験に裏打ちをされているもので、大変説得力がありました。

こうした地域はよく頑張っていると感じましたが、それでもまだ明るい未来ができたとは言えないものがあります。

ただ、前向きに生きようとする人の美しさがそこにありました。生きることは難しいことかもしれないが、前向きに生きることは素敵なものと感じた次第です。

てくつくまさたか

## ヤンキー先生講演会に参加して



津山グリーンヒルズ

今回は津山グリーンヒルズに行きました。市街地より少し北にあります。多くの市民が散歩していました。3月7日、ヤンキー先生こと義家弘介参議院議員の講演がこの津山グリーンヒルズで行われました。私も参加をしました。

### ヤンキー先生講演会に参加して

このときの50分の講演について、印象に残ったことを幾つかお伝えします。

### ●定額給付金について

お金のバラマキであり、福祉や子育てに使うべきではないかとの意見は百も承知。今回の給

付金は皆さんに配布されるので、それぞれが福祉や子育てでも使ったら良いと考えているところに使って頂きたい。

### ●公教育の役割について

野党幹部がある組織の大会で「教育に政治的中立はありません」と堂々と発言していることに言及。その組織は、教科書を変える、歴史観を変える、道徳教育を進める時、必ず抵抗する。おかしい。国を大事にすることを教えることが何故悪いか。国を愛するということ価値観を教えることが公教育の役割だ。

### ●道徳教育について

- 「道徳なき情報教育」は有害サイトをアクセスする方法を教えるだけだ。
- 「道徳なき性教育」は性的好奇心を煽るだけだ。
- 「道徳なき経済学」は金儲けを煽るだけで有害だ。

講師はハッキリと発言する人で、教育にかけられる思いが伝わってきました。時代の空気を敏感に感じとる人でもあるように思えました。私と意見の違う部分もありましたが、民主主義の大前提として、愛国心・愛郷心がなければ成立しないという思いには共感できました。

講演の中で、国が価値観を教えこまない公教育などない。親を敬う。お世話になったら、「ありが

とう」を言う。当たり前のことを教える教育をしなければならぬと訴えていたことには、私もできるところから頑張つてゆきたいと決意を新たにしました次第です。

### 編集後記

3月8日、倉敷マスカットスタジアムでの阪神対ヤクルトのオープン戦。私は中学生の硬式野球チーム関係者と一緒に観戦しました。観戦の理由は、そのチーム出身の選手がヤクルトで頑張っている。その姿を見たいというものでした。その日の個人成績は二打数ノーヒットでしたが、守備は替りたてで、いきなり見せ場。センターからレジャービームで本塁封殺。阪神の勢いをストップさせました。眼の覚めるプレーで、子どもたちは大興奮。「流石、プロ」。私もうなつてしまいました。今年公式戦一試合。ちょっと寂しいのですが、感動できる日になることは間違いありません。来年はもっと試合数が増えるようにしたいものです。(太田)

